

周りの地質に関心を



松本秀峰中等教育学校

熊本地震受け 校長が特別講座

大きな被害が出ている熊本地震を受け、松本市埋橋の松本秀峰中等教育学校は二十一日、一年生を対象に地震に関する特別講座を開いた。小坂共栄校長(モリ)は信州大名誉教授、地質学Ⅱが講師を務め、八十人の生徒が地震発生メカニズムなどを学んだ。

(中津芳子)

松本市では二〇一一地震と揺れ方には密接な関係があることを指摘した地震が起きてい摘。軟弱な地盤ほど揺る。今年四月に校長にれが激しいことなども就いた小坂校長は「信説明した。

小坂校長は「地震や噴火など、地殻変動の代表として調査にも当たり、今回は、激しさが日本列島の生徒たちに地震や同市徴。自分たちの身の回りの地質などに関心をもち、備えることが引き受けた。

講義はクラス別に開かれた。一年二組の教室では小坂校長がスライドを使いながら「震度」「マグニチュード」「活断層」などの用語を解説した上で、一二年の地震を例に、

小坂校長の講義を真剣な表情で聴く生徒たち。松本市の秀峰中等教育学校で